

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010160

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 生活支援の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	救急医療情報キット配置事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	6 地域包括支援センター 15 消防支署	
事業指標	高齢者単独世帯へのキットの配置率	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
事業目標	100%	関係例規・法令名	無	
住民参加	有	関係個別計画名	無	
住民協働	救急医療情報の整備・更新			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計画内容	急病時等の救急搬送時や救急医療機関での治療等に迅速かつ適切な対応に寄与することを目的として、日頃の健康状態や治療状況等の情報を集約し保管するための救急医療情報キットを高齢者世帯等に配置する。	・救急医療情報キットの配置 ・救急医療情報の更新等の周知	・救急医療情報キットの配置 ・救急医療情報の更新等の周知	・救急医療情報キットの配置 ・救急医療情報の更新等の周知	・救急医療情報キットの購入 ・救急医療情報キットの配置 ・救急医療情報の更新等の周知	・救急医療情報キットの配置 ・救急医療情報の更新等の周知	
	事業費(千円)	300	0	0	0	300	
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	300				300		
実績事業費	事業費(千円)	0	0	0	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	0						
関連事項	特定財源の名称	(実施内容等) 救急医療情報キットの配置 ・高齢単身者 22人 ・高齢夫婦世帯者 137人 ・障がい者 9人 ・その他希望者 23人 合計 191人 ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
	前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	75%	85%	95%	100%	100%
	第6期計画への継続(継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	0%
	事業進捗状況	☆☆☆☆					

事業名	救急医療情報キット配置事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田 通敏
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	高齢者世帯等への救急医療情報キットの配置率
【抱える課題やニーズは】	家庭内の事故・急病発生時に緊急対応が必要となる可能性がある	指標(指標計算式/解説)	目標年度 実績年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	救急搬送時に必要な情報を集約し家庭内に配置することができる	① 高齢単身者宅への救急医療情報キットの配置率	平成25年度 75% 77.5% 103.3%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	急病・事故発生時等に迅速に適切な救急・医療対応が図られる	②	年度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	救急医療情報キットの配置	保健係・地域包括支援センター職員が家庭訪問を実施した際に、救急医療情報キットを配置するほか、老人クラブ健康相談実施時にキットを配布し、自宅への配置を進めた	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	高齢社会の進展により、高齢単身・高齢夫婦世帯が増加しており、緊急時に備えた対応が必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	対象者へは「救急キット」として同じ方法で配置することで、緊急時に迅速かつ適切な対応が図られるものとする。事業実施3年目となり、前期高齢者は不在の場合も多く目標には至らなかったが、今後も対象者及び希望者への配置を進める必要がある。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	キットの購入にあたっては一定数をまとめて購入し、コストの削減を図った。また、既存事業の活用により作業の軽減に努めた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	緊急事態発生時の対応に必要であり受益者負担は求めているない。キットの配置対象者を定め、優先的に配置を進めているが希望者へは公平に配置した。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
緊急時の対応に備え、目標達成を目指してさらに配置を進める必要がある。		

今後の展開方向  
(Action)

<b>継続/現状維持</b>		
対象者への配置と必要時医療情報等の更新が必要のため、事業を継続する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止